

資料 新町将来構想案（後段）

# 新町将来構想 （案）

平成 16 年 5 月  
十勝中央合併協議会

# 目次

## 第1章 新町将来構想策定の目的と背景

- 第1節 新町将来構想策定の趣旨
- 第2節 新町将来構想の構成
- 第3節 新町将来構想策定の視点
- 第4節 新町将来構想の期間

## 第2章 3町村の現状と課題

- 第1節 3町村の沿革
- 第2節 3町村の概要
- 第3節 人口・世帯
- 第4節 産業構造の現状
- 第5節 行財政の現状
- 第6節 公共施設等の現状
- 第7節 総合計画の概要
- 第8節 主要な課題

## 第3章 3町村の合併の意義

- 第1節 合併の必要性と効果
- 第2節 懸念される事項

## 第4章 住民アンケート調査結果の概要 ..... 42

- 第1節 住民アンケート調査結果の概要 ..... 42

## 第5章 新町のまちづくりの基本方針 ..... 48

- 第1節 新町の将来像 ..... 48
- 第2節 新町の基本目標 ..... 50
- 第3節 地域別整備方針 ..... 53

## 第4章 住民アンケート調査結果の概要

### 第1節 住民アンケート調査結果の概要

新町将来構想策定にあたり、3町村住民の意向を構想に反映すべく、住民アンケート調査を実施しました。

住民アンケート調査の結果の概要は、以下のとおりです。

#### 1 調査の概要

住民アンケート調査は、平成16年2月に幕別町、更別村、忠類村在住の18歳以上の住民3,000人を無作為抽出し実施しました。3町村の調査対象人数は、幕別町2,056人、更別村581人、忠類村363人の合計3,000人で、回収率は幕別町43.1%、更別村45.1%、忠類村59.8%、3町村合計で46.0%でした。

配布数		回収数	回収率
幕別町	2,056	886	43.1%
更別村	581	262	45.1%
忠類村	363	217	59.8%
居住地不明		16	
合計	3,000	1,381	46.0%

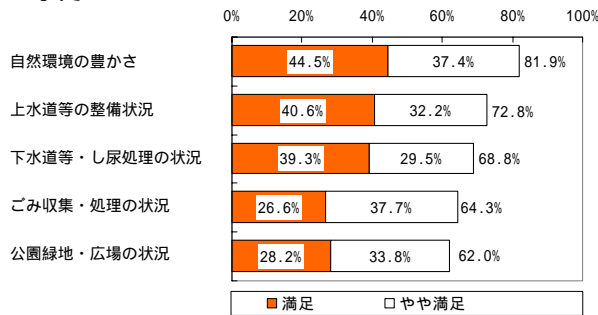
#### 2 お住まいの町村の満足度

居住している町村の施設やサービス、環境についての満足度は、3町村とも、1番目及び2番目は「自然環境の豊かさ」、「上水道等の整備の状況」で共通しており、いずれも70%以上と高くなっています。3番目以降は、幕別町では「下水道等・し尿処理の状況」、次いで「ごみ収集・処理の状況」、「日常の買物の便利さ」となっています。更別村は「道路の整備状況など」、「救急消防・防災対策の状況」、「余暇・スポーツ活動の振興（施設整備など）」となっています。忠類村は「下水道等・し尿処理の状況」、「救急消防・防災対策の状況」、「騒音・振動・悪臭等の環境」が高くなっています。

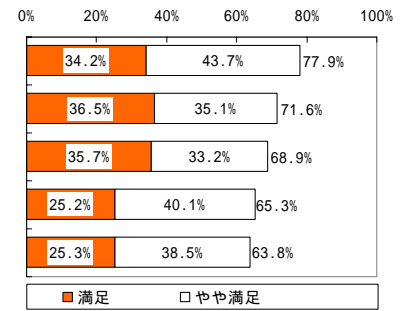
また、満足度の低いものは、幕別町が「商工業の振興（商店街の整備、中小企業の育成）」が最も高く、次いで「雇用の機会（働く場・就労支援など）」、「交通機関の便利さ」となっています。更別村、忠類村では「雇用の機会（働く場・就労支援など）」と「日常の買物の便利さ」が1番目と2番目を占めており、次いで「交通機関の便利さ」、「商工業の振興（商店街の整備、中小企業の育成）」、「保健医療の充実（検診・病院など）」が高い割合を示しています。

## 満足度の高いもの

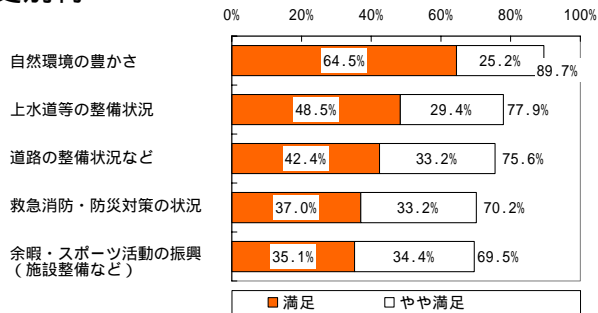
### 3 町村



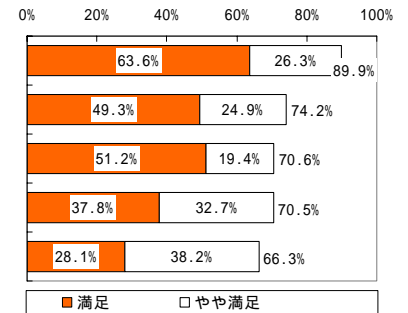
### 幕別町



### 更別村

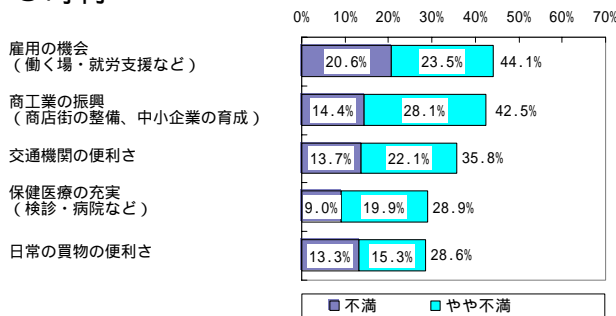


### 忠類村

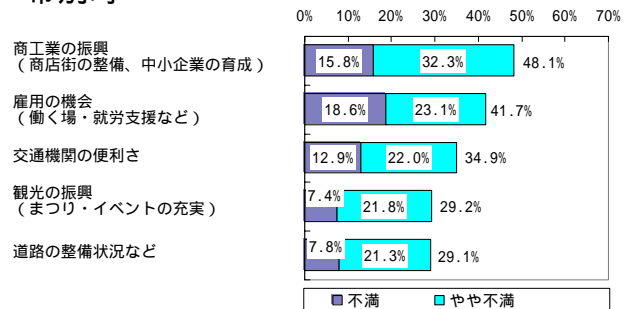


## 満足度の低いもの

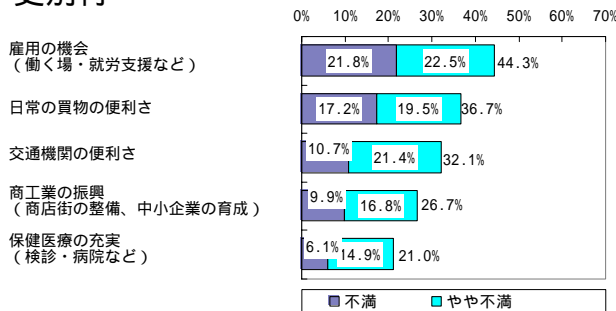
### 3 町村



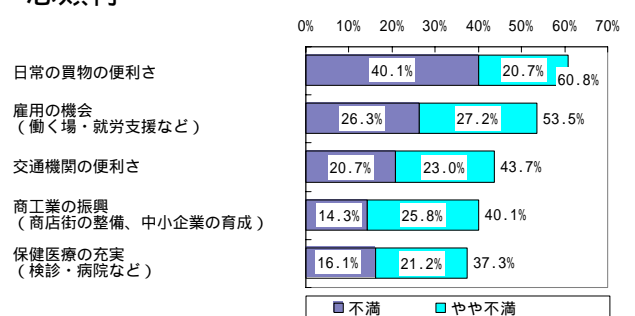
### 幕別町



### 更別村



### 忠類村

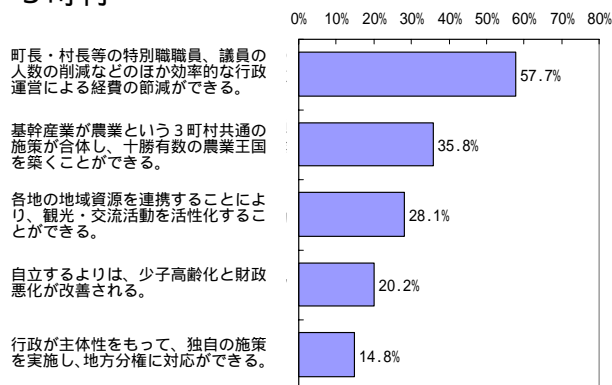


### 3 合併により期待すること

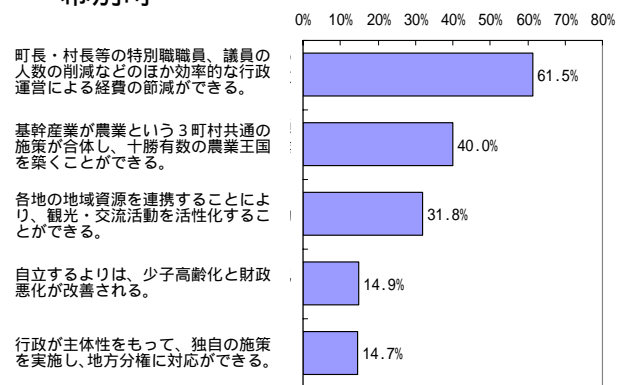
「幕別町・更別村・忠類村が合併するとしたら、どんなことを期待できると思いますか」との設問に対しては、「町長・村長等の特別職職員、議員の人数の削減などのほか効率的な行政運営による経費の節減ができる」が最も高く57.7%で、次いで「基幹産業が農業という3町村共通の施策が合体し、十勝有数の農業王国を築くことができる」が35.8%、「各地の地域資源を連携することにより、観光・交流活動を活性化することができる」が28.1%となっています。

町村別にみると、1番目は、3町村とも「町長・村長等の特別職職員、議員の人数の削減などのほか効率的な行政運営による経費の節減ができる」をあげています。2番目は、幕別町では「基幹産業が農業という3町村共通の施策が合体し、十勝有数の農業王国を築くことができる」、更別村と忠類村では、「自立するよりは、少子高齢化と財政悪化が改善される」となっています。3番目は、幕別町では「各地の地域資源を連携することにより、観光・交流活動を活性化することができる」、更別村と忠類村では、「基幹産業が農業という3町村共通の施策が合体し、十勝有数の農業王国を築くことができる」が高い割合となっています。

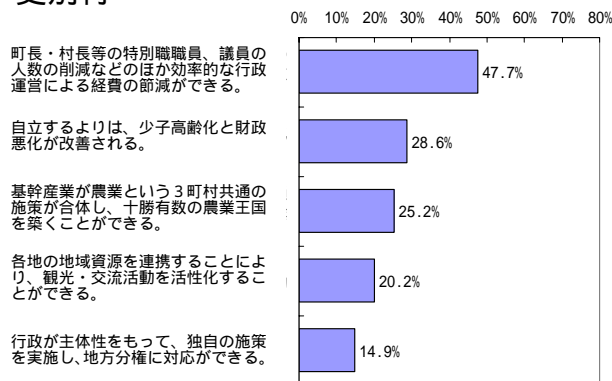
#### 3 町村



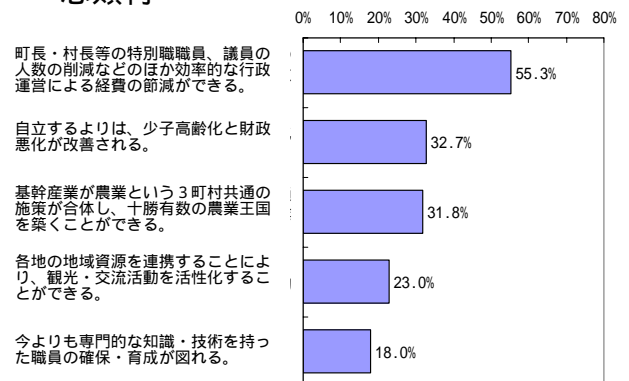
#### 幕別町



#### 更別村



#### 忠類村

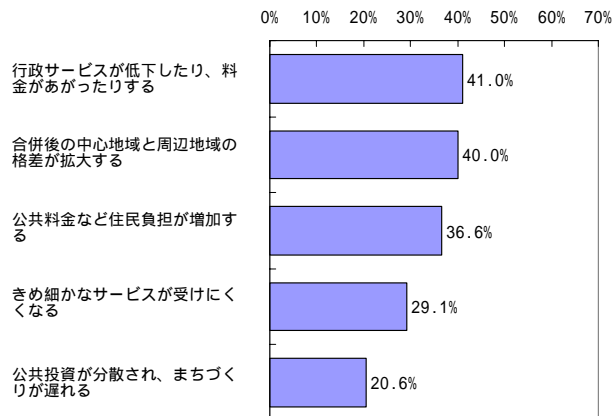


## 4 合併により心配されること

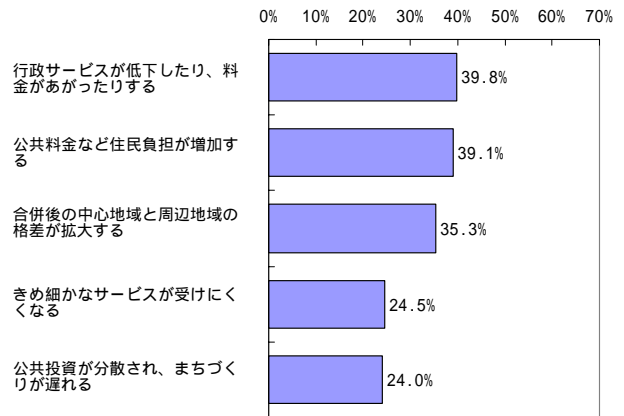
「幕別町・更別村・忠類村が合併するとしたら、心配されることは何ですか」との設問については、「行政サービスが低下したり、料金があがったりする」が41.0%、次いで「合併後の中心地域と周辺地域の格差が拡大する」が40.0%、「公共料金など住民負担が増加する」が36.6%となっています。

町村別にみると、幕別町では、「行政サービスが低下したり、料金があがったりする」、「公共料金など住民負担が増加する」、「合併後の中心地域と周辺地域の格差が拡大する」の順になっています。また、更別村と忠類村は、心配されるものの順番が同じで、「合併後の中心地域と周辺地域の格差が拡大する」、「行政サービスが低下したり、料金があがったりする」、「きめ細かなサービスが受けにくくなる」となっています。

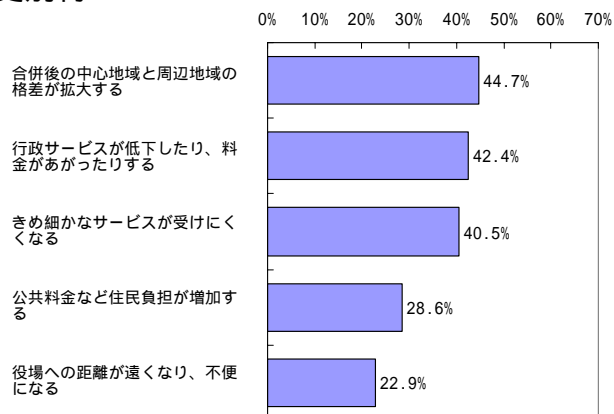
### 3 町村



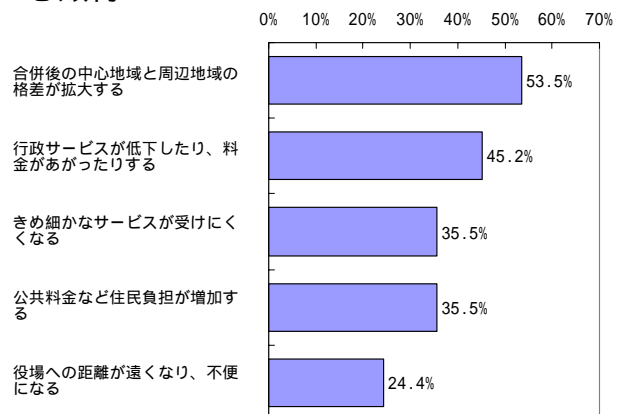
### 幕別町



### 更別村



### 忠類村

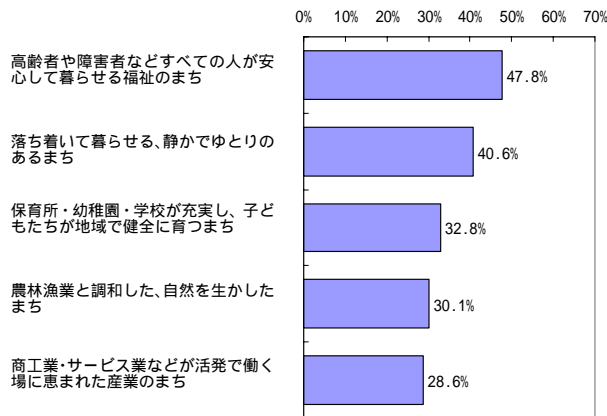


## 5 望ましい新町の姿

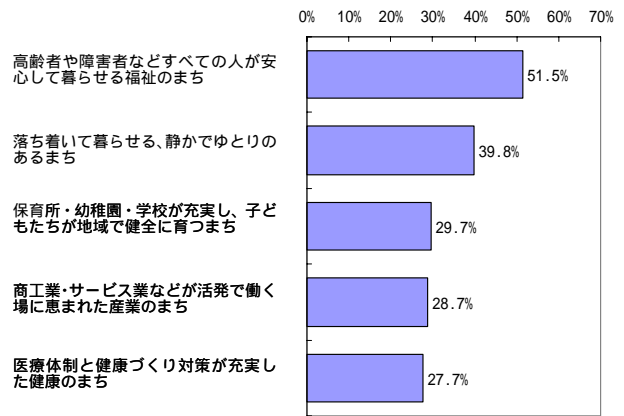
「幕別町・更別村・忠類村が合併するとしたら、新町の将来のまちの姿は、次のどれが最も望ましいと思いますか」との設問については、「高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせる福祉のまち」が47.8%と最も高く、次いで「落ち着いて暮らせる、静かでゆとりのあるまち」が40.6%、「保育所・幼稚園・学校が充実し、子どもたちが地域で健全に育つまち」が32.8%となっています。

町村別にみると、幕別町と忠類村は3番目まで、全体での順序と同じです。更別村は1番目と2番目の順序が逆ですが、3番目までにあげられている項目は同じです。

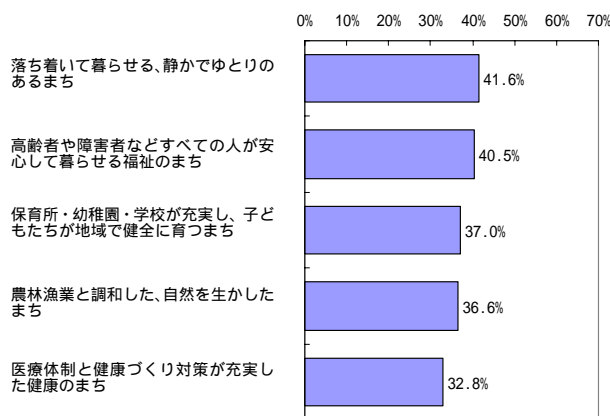
### 3 町村



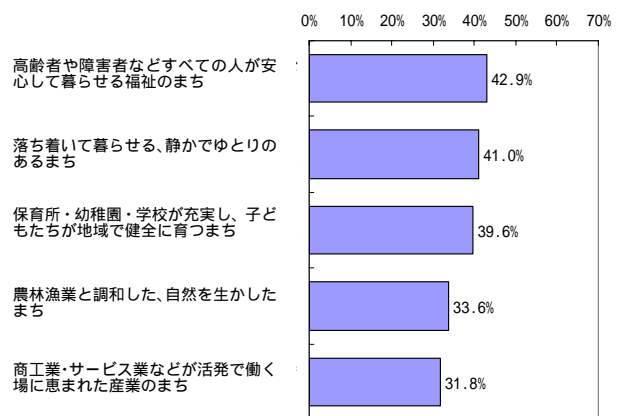
### 幕別町



### 更別村



### 忠類村

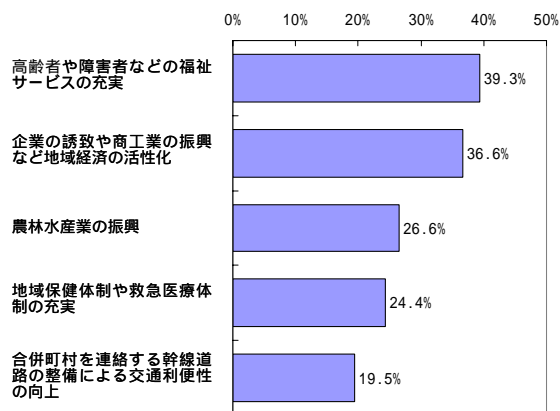


## 6 新町の重点施策

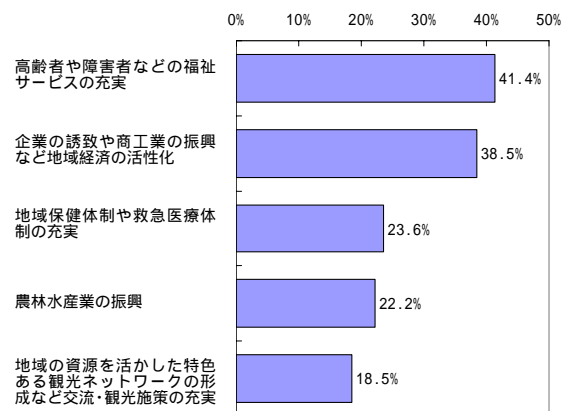
「幕別町・更別村・忠類村が新町となった場合、重点的に進めていく施策は何だと思いませんか」との設問については、「高齢者や障害者などの福祉サービスの充実」が39.3%と最も高く、次いで「企業の誘致や商工業の振興など地域経済の活性化」が36.6%、「農林水産業の振興」が26.6%となっています。

町村別にみると、1番目は3町村とも「高齢者や障害者などの福祉サービスの充実」をあげており、2番目に、幕別町と忠類村は「企業の誘致や商工業の振興など地域経済の活性化」、更別村は「農林水産業の振興」、3番目は、幕別町は「地域保健体制や救急医療体制の充実」、更別村は「企業の誘致や商工業の振興など地域経済の活性化」、忠類村は「農林水産業の振興」をあげています。

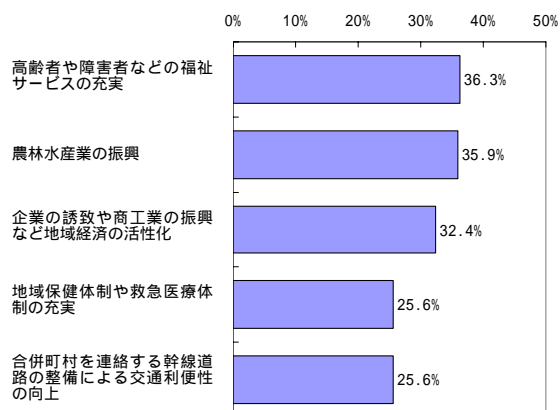
### 3町村



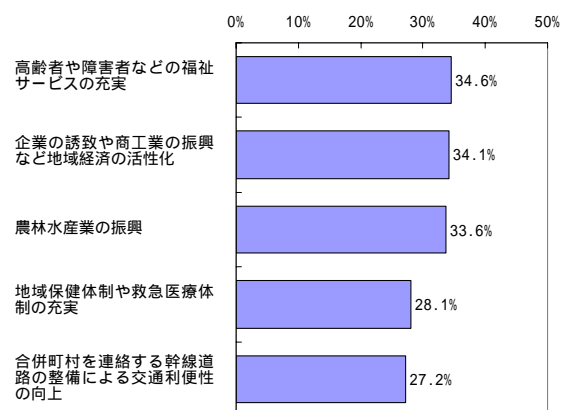
### 幕別町



### 更別村



### 忠類村





## 第5章 新町のまちづくりの基本方針

3町村の総合計画やアンケート調査の結果をふまえ、将来像や基本目標など新町のまちづくりの方向性を、以下のとおり設定します。

### 第1節 新町の将来像

#### 1 まちづくりの基本理念

新町の将来像は、住民と行政が共有してめざすべき将来の姿です。地域が有する特色と資源を基盤に、どのような面に力点を置いて、一体的なまちづくりを速やかに形成していくのかを示すものです。新町の将来像を設定するためには、まず、めざすべきまちづくりの基本的な考え方を整理することが必要です。この基本的な考え方を「まちづくりの基本理念」とします。

新町のまちづくりに当たっては、基本的に、地域内の住民同士が、また、住民と行政が、助け合い、支えあい、協働で地域の特性を生かした持続可能な社会を創造していくという考え方を共有することが大切です。

このことから、新町のまちづくりの基本理念は次のとおり設定します。

恵まれた自然環境の中で、これまで育まれてきた郷土の歴史、文化、産業とともに、人のつながりを大切にしながら、みんなが協働で新しいまちを創り、育てていく。

そのうえで、活力ある産業や生活基盤を築き、住んでみたくなる、また住んでみて良かったと思われるまちにつないでいく。

## 2 新町の将来像

新町としてのめざすべきまちづくりの基本理念を踏まえて、新町の将来像を次のとおり設定します。

人と大地が躍動し みんなで築く  
ふれあいの郷土<sup>さと</sup>

「人と大地が躍動」には、自然と調和した中で、人々が農業を中心に生き生きと日々の営みを続けるということ表現しています。

「みんなで築く」には、協働、連携、交流を通して、みんなの知恵により、新しいまちを創りあげていくということ表現しています。

「ふれあい」には、みんなで助け合い、支えあうことを、「郷土」には、地域の歴史、文化などを大切にすることを含んでいます。

全体として、「緑の大地に、人と人とが、子供や若者からお年寄りまでが、住民と行政が、それぞれ一体となって、知恵を出し合いながら、農業をはじめとする産業が躍動する、人にやさしい、住みよい豊かな郷土を築いていく」という思いを込めています。

## 第2節 新町の基本目標

新町の将来像の実現に向けて、まちづくりの基本理念のもと、まちづくりの基本目標とその施策分野を次のとおり設定します。

### 【基本目標1】

## 協働と創造 ともに考えともに創る活力あるまち

自らの責任と判断でまちづくりを進める地方分権の時代においては、住民と行政の協働体制の確立や住民、各種団体の自主的なまちづくり活動が一層求められています。

これからのまちづくりには、住民参加は欠かせないものであり、住民一人ひとりが、まちづくり活動に積極的に参加し、住民と行政がともに考え、ともに行動するまちづくりを進めます。

また、住民の連帯意識、地域の一体感の醸成も必要不可欠であることから、これまでの長い歴史の中で培ってきた個性や特色を再認識し、尊重しながら、ふれあいや交流機会の充実、住民活動の基本となるコミュニティ活動や地域間交流の推進など、住民の自主的な活動の活発化を促進するとともに、ボランティアやNPOの育成と支援など、住民の地域に根ざしたコミュニティ活動をサポートするしくみづくりを進めます。

さらに、自立した豊かなまちを持続していくため、健全で効果的、効率的な行財政運営の推進と職員の資質の向上、分権時代に対応した行政体制の整備を進めます。

### 【基本目標2】

## 安全な食の供給 農業を核に競争力のある産業のまち

産業が生き生きと躍動する中から、雇用の場が生まれ、地域に活力をもたらします。地域の持続的な発展の基盤となる産業の活性化を図るためには、国際競争や産地間競争に対抗しうる、時代の変化に対応した振興策に取り組む必要があります。

豊かな自然に恵まれ、農業を基幹産業として発展してきた当地域は、農業産出額、主要品種の作付面積、収穫量において全国でも上位を占める有数の農業地帯を形成していますが、この農業の競争力をさらに強化していくため、安全・安心を基本とした農業の振興を図るとともに、地産地消や地域ブランドの確立に向けた取り組みなどを進めます。

また、農林業を中心とする第1次産業の振興とともに、豊かな農業資源を生かした商工業の振興や、恵まれた自然景観と農業資源など地域特性を生かした特色ある観光の振興など、農業を核に産業間の連携を強め、地域全体の産業の活性化を図っていきます。

### 【基本目標3】

## 安心と思いやり 笑顔ゆきかう健康とやすらぎのまち

少子高齢化の進展とともに、女性の就労機会が増大しており、子育ての環境づくりやだれもが健康で安心して暮らし、積極的に社会参加できる地域づくりが求められています。

このため、子育ての支援体制づくりとともに、子どもたちが健やかな生活をおくることのできる環境づくりを進めます。

また、高齢者や障害者などが安心して暮らすことができるよう、保健・医療・福祉の連携やボランティア活動の活性化などを通じて、地域でお互いが助け合うしくみを構築するとともに、多様なサービスを提供し、だれもが自立し、健康で安心して暮らせる温かみのあるまちづくりを進めます。

さらに、予防医療や健康づくり教育の充実など住民の健康づくりに対する意識の醸成とともに、救急医療体制の充実を図ります。

### 【基本目標4】

## ゆとりと個性 文化の香る心豊かな学びのまち

心の豊かさや生きがい、充実感が求められる今日、それに対応した生涯学習の機会の増

大や環境づくりが必要となっています。

このため、豊かな自然や歴史、文化などの地域資源を生かすとともに、施設の有効活用を図り、学習意欲に応じた様々な学習機会の確保と環境の充実に努めます。

また、これからの社会を担う子どもたち一人ひとりの個性を大切にし、心豊かで健全に育つよう、学校と家庭及び地域が連携し、ゆとりと個性を尊重する教育環境づくりに努めます。

さらに、地域の歴史や文化・伝統の保存・伝承と新たな文化の創造、スポーツ・レクリエーション活動など、住民の自主的な活動を支援しながら、住民一人ひとりが地域に愛着を持って、生き生きと過ごすことができるまちづくりを進めます。

## 【基本目標 5】

### 環境と生活

### 自然とともに生きる環境のまち

北海道特有の恵まれた自然は、人々に安らぎと潤いを与える地域の貴重な財産であり、次の世代に継承していくことが必要です。

そのためには、自然環境と調和した地域社会の形成をめざし、ごみ・し尿処理対策をはじめ、リサイクルの推進や上下水道の整備などによる循環型社会への展開を図り、一人ひとりの住民が快適に生活できるまちづくりを進めます。

また、道路網や情報基盤の整備をはじめ、消防・救急・防災・防犯・交通安全対策などの充実に図り、広大な面積に分散して居住する住民が安心して暮らすことができるまちづくりを進めます。

こうした取り組みとともに、自然環境と調和した土地利用に心がけながら、公園整備や住宅の整備を進め、様々な分野を通じて、豊かでゆとりある生活の実現と定住の促進を図っていきます。

### 第3節 地域別整備方針

新町の建設計画策定に当たっては、3町村が一つになり新しいまちとしての輝かしい発展を描いていくとともに、均衡ある発展を進めるために、3町村それぞれのまちの特色を生かした整備が必要となります。

ここでは、3町村のまちの特色を生かした、地域別の整備方針について触れてみたいと思います。

#### 1 幕別地域の整備方針

幕別地域は、幕別地区と札内地区の二つの市街地があり、両市街地は国道38号及び町道幕別札内線を交流軸として発展してきました。

今後は、交通の拠点であるJR駅周辺の中心市街地や幹線道路沿線に高齢化社会への対応を見据えた商業地づくりを進め、周辺部にゆとりある住宅地の形成を図ります。

さらに、工業地を市街地区外延部に配置して、周辺住環境との調和を図りつつ、企業の誘致、雇用の場の拡大に取り組みます。

また、幕別地域の基幹産業である農業の振興を一層促すとともに、景観や保水機能等を維持するために、山林、農地及び緑地の保全を図ります。

#### 2 更別地域の整備方針

更別地域は、平坦で広大な耕地を活用した大規模な農業を基幹産業とした産業の振興を進めるとともに、福祉の里構想を核とした保健・医療・福祉の施策を一体的に推進し、住民が健康で安心して暮らすことのできるむらづくりを推進してきました。

今後は、農業を核としたさらなる産業の振興とともに、ソフト面も含めた保健・医療・福祉の推進や、地域の特色を生かした定住環境の整備などにより、極力人口の減少を抑制し、活力ある地域の振興に取り組みます。

#### 3 忠類地域の整備方針

忠類地域は、これまで農業(酪農)を基幹産業とした農業農村のむらづくりを中心に、商工業の振興をはじめ、白銀台スキー場、ナウマン象記念館、ナウマン温泉ホテルアルコ236を含む道の駅周辺の観光振興などに力を注いできました。

また、人口は少ないながらも、一人ひとりの顔が見えるまちづくりや、きめ細かなサービスも特色の一つといえます。

今後は、これまでのまちづくりの特色をできる限り継承していくとともに、合併により一

一番懸念される人口の減少と雇用の場の減少を最小限に抑制し、お年寄りから子供まで安心して暮らせる環境整備に配慮したまちづくりに取り組みます。

(参考)

## 【新町におけるまちづくりの施策の体系】

【将来像】 人と大地が躍動し みんなで築く ふれあいの郷土<sup>さと</sup>

### 【基本目標】

- 協働と創造 -  
ともに考えともに創る活力あるまち

交流・連携の推進  
コミュニティ活動の推進  
広報・広聴活動の充実  
行政体制、財政運営の効率化 など

- 安全な食の供給 -  
農業を核に競争力のある産業のまち

農林水産業の振興  
商工業の振興  
観光の振興  
雇用の場の創出 など

安心と思いやり  
笑顔ゆきかう健康とやすらぎのまち

保健・医療・福祉サービスの向上  
高齢者福祉等の充実  
子育て支援体制の充実  
介護保険事業の充実 など

- ゆとりと個性  
文化の香る心豊かな学びのまち

生涯学習の推進  
幼児教育・学校教育の充実  
文化・芸術活動の推進  
スポーツ・レクリエーション活動の推進 など

環境と生活  
自然とともに生きる環境のまち

自然環境の保全  
道路・交通網の整備  
快適な住環境の整備  
防災・消防体制の充実 など